

福音の園®だより

平成18年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞
平成27年度「介護職員確保・定着のための優れた取組」表彰
グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
350-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局
☎049-230-1111(FAX230-1112)

ご家族の声

一人ひとりの人格を尊重下さり感謝

いつも福音の園だよりを送って下さり有難うございます。日ごとの様子が伝わって来て嬉しく思います。今月の第132号に添えられた11月の風景では、母の姿が載っておりました。久しぶりに握った包丁で、柿の皮をむいておりました。真剣な横顔が、私達が子供の頃に台所に立ってごはんを作ってくれた当時の懐かしい横顔に重なり、胸がいっぱいになりました。職員の皆様が見守るなか、お手伝いを任され、体験できたこと、母はとても嬉しかったと思います。認知症でも一人ひとりの人格を尊重して下さっていることを心より感謝申し上げます。お薬の調整をして下さり、本当に有難うございます。(T・Y)

【註】 来訪下さりご覧になったご本人様

「生活記録」余白へ、ご家族様が

「記入(2015.12.16)下さった一文。

「了解のもと転載いたしました。



お便り紹介(外部評価機関代表者より)

知らないうちに目標になっていきます

先日、評価をさせていただいた他県の事業所さんの運営推進会議に参加させていただき、お名前を出さず御ホームの「優れた取組事業所」受賞のお話をさせていただきました。

「埼玉県は良いことをしている」、「そのホームさんの後に続きたい」とのご意見をいただきました。福音の園さんの知らないところで、事業所さんたちの目標になっています。お話をさせていただいた事業所さんたちの反応を見るたびに改めて御ホームの偉業に頭が下がります。 S・U

新年度に際して——理念・方針説明

目指すのは「裏表の無い風通しの良さ」

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳

I・Y様へ 陽春の候、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

先日は、便箋三枚もの篤いお言葉のお便りを誠にありがとうございました。



早速、「縮小コピー」した上で、各階「申し送りノート」へ「ご家族様より」と明記し、スタッフ全員へ感謝の報告をさせていただきました。

さて、今月・4月号の誌面で『「Tさん、そこ、そこ。凝ってるから気持ちイイ!」と叩かれ続ける中で介助できたと話してくれました』と云う職員「生の声」を情報公開し、読者へ届けます。

【注・第136号 新年度を迎えて——介護現場からの声】

こうした「行為を他者へ話す事」には賛否両論があります。“まるで自慢をしているようだ”、“陰徳と云う言葉があるように、人に知られない

ように収めておくべきだ”。私はあえてこれを公開発信します。動機の一つが川崎市の介護施設で「夜勤の男性職員が何人もの入居者をベランダから投げ落とし 転落死させた」事件です。

入居者から「引っ掻かれ叩かれる」、「悪態を浴びせられる」。大なり小なり全国の介護施設で同様な重圧によって充満したストレスを、黙っているよりもオープンにし「減圧(風を入れる)」としてくれた。「叩かれ続ける中で介助出来ました」と話してくれたことでむしろホッとした。

「当園では虐待や暴力行為は皆無」とご家族様へ申し上げることが出来ます。

本人もまた、周囲へオープンにすることです。

ことで「自戒」していると推察しています。

介護現場のモラル低下がクローズアップされている介護業界の現状に対して「裏表の無い、風通しの良い介護施設がここにもありますよ!」と4月号園便りで発信したかった。介護現場の倫理観は、管理者の姿勢で決まるとも言われています。モラルが崩壊しない組織のあり方について、新年度もさらにみんなで「一緒 懸命」研鑽してまいります。引き続き、お気付きの点など、何なりとお寄せいただきますようお願い申し上げます。 敬具。

2016年 4月5日 4月号園便りに添えて

お知らせ・当園紹介記事掲載専門誌

月刊『福祉介護テクノプラス』2016年7月 発行号 題名『従業者25名小規模施設にあって、何故「10年勤続者13名表彰」を実現できたのか?』

(日本工業出版発行・定価1,500円)

お知らせ・第21回ボランティア体験プログラム

受入期間: 7・21〜8・31 時間: 9〜16時

御礼 包丁研ぎ 土〇〇〇子様(川越市)

